

## 平成 21 年第 3 回（9 月）定例会一般質問

No.1

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
6 番 佐藤辰己	1. 高い介護保険料について	(1) 「第 4 期保険料は高い」という市民の声にどう答えるのか。 (2) 第 5 期に向けて、減額する政策はできないのか。	市長
	2. 新政権に対する農業政策について	(1) アメリカとの自由貿易に危機感を持つべきと思うが、市長の考えは。 (2) 中山間地域直接支払い制度の堅持と必要性について、市長の考えは。	市長
	3. 全国一斉学力テストについて	(1) 全国一斉学力テストの結果と評価について伺う。 (2) 今後の学力向上策に何が必要か	教育長
10 番 小野泰秀	1. 都市計画税の廃止について	(1) 都市計画税は都道府県知事の認可を受けた事業でなければ充当できないようになっているが、本市では知事の認可を受けた事業はすべて終了したのか。 (2) 都市計画税は固定資産税の付加税ではないかという、誤解や不審、不満の声もあるが、納税者に対してもっと用途を明らかにし、受益と負担の関係を明確にしたものを公表し、説明すべきだったのではないかと思うが。 (3) 現在、県内では都市計画税を課税している市町村は豊後大野市を含め、10市あると聞かすが、どのような状況にあるのか。 (4) 合併後 5 年が経っており、その間、具体的な事業計画もなく、納税者は現状を知らされず、起債償還だけのために、都市計画税を支払ってきたことになるが、正当性はあるのか。 (5) 平成 22 年度から都市計画税を停止にするが、これまで長年にわたり納めてきた納税者に対して、行政としてどのような対応を考えているのか。	市長
	2. 新庁舎建設について	(1) 市は株式会社日本設計と基本設計業務の委託契約を締結しているが、現在はどうなっているのか。 (2) 基本設計、実施設計、監理、施工について市内の事業者と協議を行っているとのことであるが、その進捗状況は。 (3) 「身の丈に合った庁舎」とは建設費をどのくらいの額と考えているのか。 (4) 用地取得について、関係地権者との協議は進んでいるのか。 (5) 市民の利便性や行政の効率性、経済性を考えれば、一刻も早い建設の着工が必要ではないか。	市長
	3. 部長制の廃止について	(1) その理由は。	市長

## 平成 21 年第 3 回 (9 月) 定例会一般質問

No.2

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
2 番 沓掛義範	1. 農・商経営活性化対策支援事業の推進を提案(予算の創設を)	(1) 昨年の燃油、肥料等、資材の高騰に対して、農産物価格には反映されず、所得の減少につながり、経営の悪化、資金繰りが困難になっている。(投資をするにも資金不足) 商業についても同じことが言える。経営のための資金の貸し付けを検討しては。	市長
19番 宮成昭義	1. 本市における地域づくりについて	(1) 主要施策 8 政策が示され、事業実施のためには財源及び優先順位的な事業を市民に示す必要があるのではないかと考えるがその考えは。	市長
1 番 神志那文寛	1. 後期高齢者医療制度の廃止を	(1) この制度は、高齢者の医療内容を差別したり、安い年金から保険料を天引きするなど、高齢者の生存権を脅かしています。 廃止すべきと思いますが、市長の見解は。 (2) 総選挙の結果、この制度を廃止する条件が強まりました。政府や国会に制度の廃止を要望してはどうですか。	市長
	2. 高齢者等の交通手段の確保を	(1) 地域公共交通体系について、平成23年度策定予定の総合連携計画にむけて本年度は実態調査や意識調査を行うとのことですが、具体的にはどのように行いますか。 公共交通を必要とする方の生の声を、どのように反映させますか。 (2) バス利用を促進するために、高齢者にシルバーパスを発行して料金を減額や無料にしてはどうですか。 (3) バス利用をしやすい環境づくりの一環として、すべてのバス停にベンチを設置してはどうですか。 地域活性化・経済危機対策臨時交付金などを活用してバス停用ベンチを製作・設置する、市が助成を行い、その維持・管理を行ってもらうなどしてはどうですか。	市長

## 平成 2 1 年 第 3 回 ( 9 月 ) 定例会 一般質問

No.3

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
3 番 和田哲治	1. 「農業労働災害共済事業」の復活と、その制度化について	(1) 旧大野町で実施されていたこの共済制度は、合併協議のなかで「他の町村に類似のない制度については一旦は白紙とし、あらたに新市において検討する。」とのことであったが、現在でも廃止のままである。 この5年間の経過について問う。  (2) 市内の農業従事者は高齢化しているなか、この互助制度は農業者より高い支持と評価を得ていた。 是非この復活を切望し、市全域を対象とする制度化を求める。	市長
	2. 「地籍調査未実施地域」の進捗の促進と事業拡大について	(1) 現在、本調査業務は「第5次十箇年計画」に基づき5町で実施されているが、今年度は「次期(第6次)国土調査事業十箇年計画」(平成22年度～平成31年度)が策定される年度にあたる。 更なる調査実施地域の拡大と進捗の促進を求め、市の計画への考えを伺う。	市長
	3. 「豊後おおのこ子供市議会」の定例化について	(1) 近年の地方選挙や国政選挙において若者(20歳代)の低投票率が毎回のごとく大きくクローズアップされている。 身近な地方政治である行政や議会に興味や目を向け、その大切さを知ってもらうためにも、議会定例会に併せた「子供市議会」の定例開催ができないか見解を伺う。	市長 教育長
8 番 恵藤千代子	1. 男女共同参画社会の実現を目指して	(1) 市の審議会等における女性委員の登用について、考えを伺う。  (2) 市職員の女性管理職の登用について、考えを伺う。  (3) 女性の人材発掘、リスト作成…今後の活用具体策は。  (4) ドメスティック・バイオレンスの現状と対策について  (5) 推進体制の充実、強化について	市長

## 平成 21 年第 3 回 ( 9 月 ) 定例会一般質問

No.4

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
23番 首藤正光	1. 清川診療所及び新設される三重診療所について	(1) 23年度に民間に移行する計画は、どのようになっているのか。 (2) 現在の診療所に管理職を置いている理由は。 (3) 市営で経営はできないのか。 (4) 来年度10月三重診療所開設時にも管理職を置くのか。	市長
	2. 都市計画税廃止について	(1) 廃止後の都市計画区域内における事業未実施地区の問題をどう考えておられるか。 (2) 未計画地の市道の整備を優先してはどうか。	市長
7番 小野順一	1. 防災について	(1) 近年では、気象の変化による局地的な集中豪雨で、山間部では僅かな谷間で多量の水、砂利を道路に洗い出したり、民家の庭先まで押し寄せてくるなど予期せぬ事態が起こっている。 どのような対応を考えているか伺う。 (2) 治山治水が目的で進められた植林も40数年を過ぎた今日では価格低迷などにより森林整備が遅れている。 最近では業者による森林の伐採で山肌が丸見えの場所が多くなっている中、数年後には土砂災害の危険性が高いと思われる。 現状把握と対策について伺う。	市長
	2. 山間地域(小規模集落)内の飲料水確保について	(1) 山間地域内での飲料水確保は谷川の流れや湧水を利用しているため、大雨等により支障をきたすことが多々ある。 状況に応じた対策は考えられないか伺う。	市長
14番 赤嶺謙二	1. 税金と利用料について	(1) 最新の市民税・固定資産税と保育料・給食費の滞納状況は。 (2) 先般の説明では、前納報奨制度の見直しをしたいとのことだが、納税意識の向上の面からも制度は残してもいいのでは。 また、不公平感の是正のために、前納制度を是正するのであれば、それに変わる税の健全徴収対策は。 (例：納税組合の復活、給食費の当番制による集金など)	市長
	2. 公立おがた総合病院について	(1) 現状での医師確保の取り組み状況は。 (2) 来年度10月より県立三重病院と統合されるが、新しく生まれかわる意味もこめて。 病院の名称変更を公募により実施しては。	市長